



OASE Operation Autonomy Support Engine

バージョンアップ

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

第1.2版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 本資料について
2. システム構成
 - 2.1 動作環境・条件
3. OASEバージョン手順
 - 3.1 事前準備
 - 3.2 OASEバージョンアップフロー
 - 3.3 バージョンアップ (1/11)
 - 3.4 バージョンアップ (2/11)
 - 3.5 バージョンアップ (3/11)
 - 3.6 バージョンアップ (4/11)
 - 3.7 バージョンアップ (5/11)
 - 3.8 バージョンアップ (6/11)
 - 3.9 バージョンアップ (7/11)
 - 3.10 バージョンアップ (8/11)
 - 3.11 バージョンアップ (9/11)
 - 3.12 バージョンアップ (10/11)
 - 3.13 バージョンアップ (11/11)
4. OASE動作確認

1. はじめに



1.1 本資料について

■ 本資料について

- 本資料では、オールインワン構成でインストールされているOASE環境に対して、バージョンアップを行う手順について記載しています。



2. システム構成



2.1 動作環境・条件

■ OASEのバージョンアップを行う環境について

- 本書の手順は、オールインワン構成でインストールされているOASE環境に対して実施可能です。
- バージョンアップに対応しているOASEのバージョンは**1.1.1以降**です。1.1.1以降のOASEバージョンの環境に対して、本書の手順を実施することによりバージョンアップを行うことができます。



3. OASEバージョンアップ手順



3.1 事前準備

OASEバージョンアップツール一覧

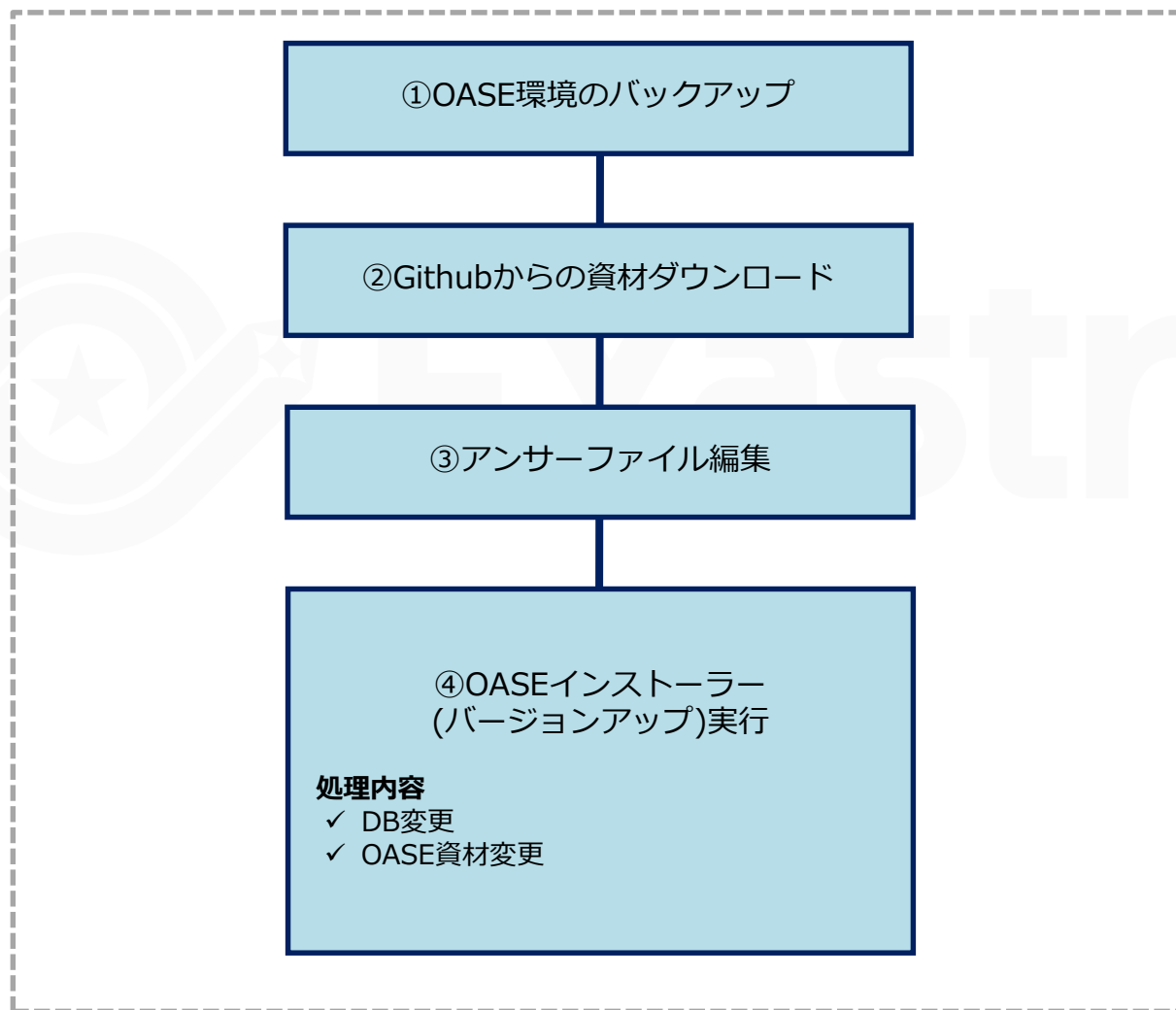
- OASEバージョンアップツール一覧は以下となります。

説明	ファイル	格納先
OASEインストーラー	oase_installer.sh	/(インストール資材展開先)/oase/oase_install_package/install_scripts/
アンサーファイル	oase_answers.txt	/(インストール資材展開先)/oase/oase_install_package/install_scripts/

3.2 OASEバージョンアップフロー

バージョンアップフロー

- バージョンアップは以下のフローとなっています。



3.3 バージョンアップ (1/11)

OASE環境のバックアップ

- 事前にOASE環境のバックアップを取得してください。

Githubからの資材ダウンロード

- 以下のコマンドで資材をDLします。

```
# curl -OL https://github.com/exastro-suite/oase/releases/download/vx.x.x/exastro-oase-x.x.x.tar.gz
```

※curlコマンドは事前にインストールしてください。

※バージョン(x.x.x)は適宜変更してください。

資材の展開

- .tar.gzファイルを解凍します。

```
# tar zxf exastro-oase-x.x.x.tar.gz
```

answersファイルの編集

- バージョンアップ設定を行うアンサーファイルとシェルのあるディレクトリに移動します。

```
# cd oase/oase_install_package/install_scripts
```

3.4 バージョンアップ (2/11)

answersファイル(oase_answers.txt)を編集(1/3)

- OASEのバージョンアップ設定を行うアンサーファイルを事前に作成してください。
- バージョンアップを行う際、ライブラリのインストールを行う場合は「install_mode」の値を「Versionup_All」に、ライブラリのインストールを行わない場合は「Versionup_OASE」にしてください。

種目	必須	初期値	説明
install_mode	○	Install_Online	インストールモードの設定 ・ Install_Online : オンラインインストール ・ Install_Offline : オフラインインストール ・ Gather_Library : ライブラリ収集 ・ Versionup_All : OASE本体のバージョンアップ(ライブラリのインストールあり) ・ Versionup_OASE : OASE本体のバージョンアップ(ライブラリのインストールなし) ・ Uninstall : OASE本体のアンインストール
RabbitMQ_username	○	administrator	RabbitMQのユーザー名
RabbitMQ_password	○	password	RabbitMQのパスワード
RabbitMQ_queueName	○	oase	RabbitMQのキューの名前 (生成されるので任意のもの)
RabbitMQ_ipaddr	○	-	RabbitMQのIPアドレス
db_root_password	○	password	MariaDBのrootパスワード
db_name	○	OASE_DB	OASE用MariaDBデータベースの名前
db_username	○	OASE_USER	OASE用MariaDBデータベースのユーザー名

3.5 バージョンアップ (3/11)

answersファイル(oase_answers.txt)を編集(2/3)

- OASEのバージョンアップ設定を行うアンサーファイルを事前に作成してください。
- バージョンアップを行う際、ライブラリのインストールを行う場合は「install_mode」の値を「Versionup_All」に、ライブラリのインストールを行わない場合は「Versionup_OASE」にしてください。

種目	必須	初期値	説明
db_password	○	OASE_PASSWD	OASE用MariaDBデータベースのパスワード
db_erase	○	-	OASEのアンインストール時、DBを消すか、残すかの選択
jboss_root_directory	○	/exastro/WildFly	Jbossのインストール先
rhdm_adminname	○	admin0000	RHDMの管理者名
rhdm_password	○	password@1	RHDMのパスワード
dm_ipaddrport	○	localhost:8080	RHDMのIPアドレスとポート番号
rulefile_rootpath	○	/exastro/rule	RHDMのルール設定ファイルパス（生成されるので任意の場所）
apply_ipaddrport	○	127.0.0.1:50001	Applyサービスが起動するIPとポート
mavenrep_path	○	/root/.m2/repository/com/oase/	Maven jarファイルの格納場所
oasemail_smtp	○	"{'IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25,'AUTH':False}"	OASEのメールサーバー設定
oase_directory	○	/exastro	OASEのインストール先パス

3.6 バージョンアップ (4/11)

answersファイル(oase_answers.txt)を編集(3/3)

- OASEのバージョンアップ設定を行うアンサーファイルを事前に作成してください。
- バージョンアップを行う際、ライブラリのインストールを行う場合は「install_mode」の値を「Versionup_All」に、ライブラリのインストールを行わない場合は「Versionup_OASE」にしてください。

種目	必須	初期値	説明
<code>oase_session_engine</code>	○	-	OASEセッションの保持方法
<code>ev_location</code>	○	-	AD連携時、クローンJob実行するときのIPアドレス
<code>oase_language</code>	○	ja	使用する言語
<code>oase_os</code>	○	-	使用するOS
<code>oase_domain</code>	○	exastro-oase.local	OASEのドメイン名
<code>certificate_path</code>	任意	-	ユーザ指定のSSLサーバ証明書に使用するファイルのファイルパス (ユーザ指定のSSL証明書使用時のみ入力。絶対パスで指定してください)
<code>private_key_path</code>	任意	-	ユーザ指定のSSL秘密鍵に使用するファイルのファイルパス (ユーザ指定のSSL秘密鍵使用時のみ入力。絶対パスで指定してください)

3.7 バージョンアップ (5/11)

■ インストールモードについて

- アンサーファイル(oase_answers.txt)の「install_mode」の値によって、インストーラーの動作が分岐します。バージョンアップ時には以下のいずれかの値を入力します。
 - Versionup_All : バージョンアップで必要となるライブラリをインターネット経由で追加インストールした後、OASE本体をバージョンアップします。
 - Versionup_OASE : ライブラリのインストールは行わずに、OASE本体をバージョンアップします。
- オンライン環境でライブラリを自動でインストールする場合は、「install_mode」を「Versionup_All」を、オフライン環境、またはライブラリを自動でインストールしない場合は、「Versionup_OASE」を入力してください。

3.8 バージョンアップ (6/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 1/4

- アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプルを以下に示します

```
# Select install mode.
# ("Install_Online", "Install_Offline", "Gather_Library", "Versionup_All", "Versionup_OASE", "Uninstall")
# e.g) install_mode:Install_Online
install_mode:Versionup_OASE

#####
# RabbitMQ
#####
# Decide the RabbitMQ_username.
# e.g) RabbitMQ_username:sample_rabbitmq_username
RabbitMQ_username:admin

# Decide the RabbitMQ_password.
# e.g) RabbitMQ_password:sample_rabbitmq_password
RabbitMQ_password:password

# Decide the RabbitMQ_queue_name.
# e.g) RabbitMQ_queue_name:oase
RabbitMQ_queue_name:oase

# Enter IP address for RabbitMQ.
# e.g) RabbitMQ_ipaddr:127.0.0.1
RabbitMQ_ipaddr:127.0.0.1

#####
# MariaDB
#####
# Enter the MariaDB root user's password
# e.g) db_root_password:sample_root_password
db_root_password:password

# Decide the database name, username, and password for OASE.
# e.g) db_name:sample_db_name
db_name:OASE_DB
# e.g) db_username:sample_db_username
db_username:OASE_USER
# e.g) db_password:sample_db_password
db_password:OASE_PASSWD

# In uninstll mode,
# Select "erase" or "leave" oase database
```

3.9 バージョンアップ (7/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 2/4

```
# In uninstall mode,
# Select "erase" or "leave" oase database
# e.g) db_erase:erase
db_erase:erase

#####
# JBoss EAP
#####
# Enter JBoss install directory.
# e.g) jboss_root_directory:/exastro/JBossEAP
jboss_root_directory:/exastro/JBossEAP

#####
# RHD
#####
# Decide the Administrator name, password.
# e.g) rhdm_adminname:admin0000
rhdm_adminname:admin0000
# e.g) rhdm_password:password@1
rhdm_password:password@1

# Enter IP address & port for Decision Manager.
# e.g) dm_ipaddrport:localhost:8080
dm_ipaddrport:localhost:8080

#####
# RULEFILE
#####
# Enter root path for RULEFILE.
# e.g) rulefile_rootpath:/exastro/rule
rulefile_rootpath:/exastro/rule

#####
# APPLY
#####
# Enter IP address & port for APPLY SERVICE.
# e.g) apply_ipaddrport:127.0.0.1:50001
apply_ipaddrport:127.0.0.1:50001
```


3.10 バージョンアップ (8/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 3/4

```
#####
# Maven
#####
# Enter repository path for Maven.
# e.g) mavenrep_path:/root/.m2/repository/com/oase/
mavenrep_path:/root/.m2/repository/com/oase/

#####
# OASEメールSMTP設定
#####
# Enter smtp settings.
# e.g) oasemail_smtp:["IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25,'AUTH':False]"
oasemail_smtp:["IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25,'AUTH':False]"

#####
# OASEインストールディレクトリ
#####
# Enter OASE install directory.
# e.g) oase_directory:/exastro
oase_directory:/exastro

#####
# settings.py
#####
# Decide the EVTIMER SERVER location
# e.g) ev_location:127.0.0.1
ev_location:127.0.0.1

# Select language. ("ja")
# e.g) oase_language:ja
oase_language:ja

# Select Operation System. ("CentOS7" or "RHEL7" or "RHEL8")
# e.g) oase_os:RHEL7
oase_os:RHEL8
```

3.11 バージョンアップ (9/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 4/4

```
#####  
# SSLサーバ証明書  
#####  
# Enter the oase domain name.  
# e.g) oase_domain:exastro-oase.local  
oase_domain:exastro-oase.local  
  
# Enter when using user-specified certificates and private keys.  
# If no file path is entered for both "certificate_path" and "private_key_path",  
# the OASE installer creates and installs a self-certificate and private key  
# using the values entered in "oase_domain".  
  
# Enter the file path where the certificate to be install.  
# e.g) certificate_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-oase.crt  
certificate_path:  
  
# Enter the file path where the private key to be install.  
# e.g) private_key_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-oase.key  
private_key_path:
```

3.12 バージョンアップ (10/11)

OASEインストーラー(バージョンアップ)実行

- 以下のコマンドで、OASEインストーラー(バージョンアップ)を実行します。

```
# sh oase_installer.sh
```

- アンサーファイル (oase_answers.txt) の「install_mode」が「Versionup_All」の場合は、処理の途中でライブラリが自動でインストールされます。バージョンごとにインストールされるライブラリは次ページを参照してください。

処理の確認

- 正常に終了すると、取得した資材のバージョンに上げることができます。
- バージョンアップツールを実行するとoase_version_up.logに処理内容が出力されます。
- ログ格納パス
/(インストール資材展開先)/oase_install_package/install_scripts/log/

終了ステータスについて

- OASEインストーラーは、シェルの処理終了時に終了の状態によって以下の終了ステータスを返します。
正常終了時 : 0
異常終了時 : 1

3.13 バージョンアップ (11/11)

バージョンアップ時にインストールされるライブラリー一覧

- アンサーファイル (oase_answers.txt) の「install_mode」に「Versionup_All」を入力した場合は、インストール済のドライバに応じて以下のライブラリが自動でインストールされます。「VersionUP_OASE」を入力した場合は、手動でライブラリのインストールを実施してください。

バージョン	インストール済 ドライバ	ライブラリ名	インストールコマンド	必須	用途
1.2.0					バージョン1.2.0で追加されたライブラリはありません。
1.3.0					バージョン1.3.0で追加されたライブラリはありません。
1.3.1					バージョン1.3.1で追加されたライブラリはありません。
1.4.0					バージョン1.4.0で追加されたライブラリはありません。
1.5.0					バージョン1.5.0で追加されたライブラリはありません。

4. OASE動作確認



Exastro